Joint IASB-ISSB Update 2024 年 1 月

この Joint IASB-ISSB Update は、国際会計基準審議会（IASB）及び国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、作業計画で見ることができる。
IFRS®会計基準、修正、IFRIC®解釈指針及び IFRS®サステナビリティ開示基準に関する IASB 及び ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「デュー・プロセス・ハンドブック」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

IASB 及び ISSB は、2024 年 1 月 25 日にロンドンにて会議を行った。

関連情報：

- 原文はこちら
- ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）はこちら

目次

戦略及びガバナンス

- アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）

戦略及びガバナンス

アジェンダの優先度に関する ISSB の公開協議（アジェンダ・ペーパー2）

IASB と ISSB（両審議会）は 2024 年 1 月 25 日に会議を行い、ISSB の情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」に対するフィードバックについて議論した。具体的には、両審議会は、報告における統合に関してのプロジェクトの可能性に対するフィードバック及びコネクティビティに関してのフィードバックについて議論した。

ISSB の情報要請には、以下に関する質問が含まれていた。

a. 報告における統合に関する考え得るプロジェクトの優先度（ISSB の作業計画に追加される可能性のある他の 3 つの提案されているサステナビリティ関連プロジェクトとの比較で）
b. 当該プロジェクトが優先事項と考えられる場合、IASB との正式な合同プロジェクトとして取り組むべきか、ISSB 主導のプロジェクト（それでも IASB からのインプットに依拠する可能性がある）として取り組むべきか
c. 当該プロジェクトを行うとした場合、IASB の公開草案「経営者による説明」、統合報告フレームワーク及び他の典拠からの概念を基礎とすべきかどうか

情報要請には、コネクティビティに関する質問は含まれていなかったが、コメント提出者は当該トピックに関するフィードバックを提供した。

両審議会は何も決定を求められなかった。

次のステップ

IASB は「経営者による説明」プロジェクトの方向性について議論する。ISSB は、情報要請に対するフィードバックについて引き続き議論し、そこで指摘された事項について決定を行う。